

■関連文化財群の構成文化財一覧（開拓使）

| 番号 | 文化財の名称 | 指定等の状況 | ストーリーの中の位置づけ等 | 所在地 |
|----|------------------------------------|---|---|----------------|
| 1 | エドウィン・ダン 記念館 | 国登録有形文化財、札幌景観資産（第20号）、さっぽろ・ふるさと文化百選（建物）No. 42 | <ul style="list-style-type: none"> ・北海道の畜産技術導入のため真駒内に作られた種畜場の事務所として、明治20年（1887年）に建てられた。 ・下見板張り、寄棟造の洋風建築で、正面玄関中央に構えた切妻造の玄関及び屋根窓、ベランダ付の部屋等が特徴。 ・建物「旧真駒内種畜場事務所」の名称でさっぽろ・ふるさと文化百選に選定されている。 | 南区真駒内泉町1丁目6-1 |
| 2 | 北海道庁 旧本庁舎 （赤れんが庁舎） | 国指定重要文化財 国指定史跡 | <ul style="list-style-type: none"> ・明治21年（1888年）竣工のレンガ造地上2階地下1階の官庁建築。 ・平井晴二郎設計による日本における大規模なレンガ造建造物の初期遺構。 ・明治12年（1879年）に失火により焼失した開拓使本庁舎の敷地南側に建設された。 | 中央区北2・3条西5・6丁目 |
| 3 | 開拓使札幌本庁 本庁舎跡および 旧北海道庁本庁 舎 | 国指定史跡 | <ul style="list-style-type: none"> ・西4～8丁目までと北1～6条までを敷地とし、明治6年（1873年）、本庁舎と附属建物が竣工した。 ・開拓使札幌本庁本庁舎は明治12年（1879年）の火災によって焼失していたが、昭和42年（1967年）北海道本庁舎新築工事中に、その基礎杭跡と捨土台などが発見され、後世に残すため跡地が保存されている。 | 中央区北2・3条西5・6丁目 |
| 4 | 桑園碑 | 指定なし | <ul style="list-style-type: none"> ・明治8年（1875年）開拓使は、今の北1～10条、西11～20丁目の地域を全部桑畑にすることとし、開墾を進めた。 ・明治45年（1912年）、現在の知事公館の場所に、桑園の歴史を後世に伝えるため、「桑園碑」が建てられた。 | 中央区北1条西16丁目 |
| 5 | 創成川 | さっぽろ・ふるさと文化百選（街並）No. 85 | <ul style="list-style-type: none"> ・明治3年（1870年）に、「大友堀」が南北へ延長され、明治7年（1874年）、開拓使によって創成川と命名された。 ・琴似川を介して茨戸からの物資運搬ルートとなっていた。 ・街並「創成川と創成橋」の名称で、さっぽろ・ふるさと文化百選に選定されている。 | 中央区北区東区 |

| | | | | |
|----|--------------------------------|---|---|--|
| 6 | 創成橋 | さっぽろ・ ふるさと 文化百選 (街並) No. 85 | <ul style="list-style-type: none"> ・明治4年(1871年)、現在の南1条の「大友堀」に架けられた橋が岩村通俊判官により創成橋と名付けられた。 ・現在の橋は、明治43年(1910年)建造の市内で最も古い橋である。その後、現在の橋は二度修復保全され、平成22年(2010年)に往時の姿で復元された。 ・街並「創成川と創成橋」の名称で、さっぽろ・ふるさと文化百選に選定されている。 | 中央区 南1条 西1～ 東1丁 目 |
| 7 | 豊平川 | 指定なし | <ul style="list-style-type: none"> ・小漁山(千歳市)を水源とし、南区、豊平区、中央区、白石区を流れて、東区と江別市との境界付近で石狩川に注ぐ一級河川。札幌の中心市街地は豊平川が形成した扇状地上にある。 ・豊平川の伏流水は、札幌のまちが形成された扇状地の地下を流れ、扇状地末端にあたる現・JR札幌駅周辺などで湧き水となって流れ出していた。 | 南区 豊平区 中央区 白石区 東区 |
| 8 | 北3条通 | さっぽろ・ ふるさと 文化百選 (街並) No. 77 | <ul style="list-style-type: none"> ・明治初期に作られた北3条通は当時「札幌通」と名付けられ、東に延びる通り沿い南側には札幌農学校や官営工場など、様々な開拓使の機関が置かれていた。 ・大正13年(1924年)、北3条通の一部に本市では初めて木レンガによる舗装が行なわれた。翌14年(1925年)にイチョウ32本が植えられ、今も美しい並木となっている。 ・北3条広場周辺の街並みは「木レンガ舗装とイチョウ並木」の名称で、さっぽろ・ふるさと文化百選に選定されている。 | 中央区 北3条 西4丁 目北3 条広場 (さっぽ ろ・ふる さと文化 百選指 定区域) |
| 9 | 旧札幌麦酒会社 工場跡(サッポロ ファクトリー) | さっぽろ・ ふるさと 文化百選 (建物) No. 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・明治5年(1872年)、札幌を視察したトーマス・アンチセルが北海道に自生しているホップを見て、北海道での麦酒醸造を勧めた。 ・明治8年(1875年)、ドイツで麦酒醸造の技術を習得して帰国した中川清兵衛を雇い、翌9年(1876年)に開拓使麦酒醸造所を北2条東4丁目に設けた。 ・明治25年(1892年)に建てられた現存の工場は、風格のあるレンガ造の建物である。 | 中央区 北2条 東4～5 丁目 |
| 10 | 札幌農学校とク ラーク博士 | さっぽろ・ ふるさと | <ul style="list-style-type: none"> ・東京で創設された「開拓使仮学校」は明治8年(1875年)に、「札幌学校」と改称され札幌に移つ | 中央区 北9条 |

| | | | | |
|----|----------------|---------------------------------|---|----------------------|
| | | 文化百選 (遺跡) No. 53 | た。キャンパスは北1～2条、西1～2丁目にあり、明治9年(1876年)には、「札幌農学校」と改称して開校した。 ・新渡戸稲造や内村鑑三のように北海道の開拓や日本文化の発展に寄与する多くの人材を育成した。 ・クラーク博士については、【参考】関連文化財群及びストーリーに関する歴史上の人物と事物(開拓使)のNo.3参照 | 西7丁目北海道大学構内 |
| 11 | 旧札幌農学校演武場(時計台) | 国指定重要文化財 | ・米国中・西部開拓地の木造建築様式に習って開拓使工業局の設計監督の下に建築され、明治11年(1878年)に完成した。なお、時計塔は、明治14年(1881年)に設置された。 | 中央区北1条西2丁目 |
| 12 | 旧開拓使工業局庁舎 | 国指定重要文化財 (建造物) | ・開拓使工業局の庁舎として札幌市東創成町(現在の中央区大通東2丁目)に明治10年(1877年)に建設。 ・昭和54年(1979年)に北海道開拓の村に創建時の姿で移築された。 | 厚別区厚別町小野幌50-1北海道開拓の村 |
| 13 | 旧永山武四郎邸 | 道指定有形文化財 | ・1880年頃(明治10年代前半)に建てられた、第2代北海道庁長官・永山武四郎の私邸。 ・純和風書院座敷と洋風応接室がつながる和洋折衷様式の建物で、西洋建築技術を取り入れた住宅。 | 中央区北2条東6丁目2番地 |
| 14 | 豊平館 | 国指定重要文化財 | ・明治13年(1880年)、開拓使直営の洋風ホテルとして建築した、現存する木造ホテルとしては日本最古の建物。 ・建設当初は北1条西1丁目にあったが、昭和33年(1958年)に中島公園内に移築された。 | 中央区中島公園1-20 |
| 15 | 清華亭 | 市指定有形文化財 | ・明治13年(1880年)、明治天皇の北海道行幸の際の休憩所として建築された建物。 ・黒田清隆が清華亭と名付けた。 ・現在も建築時と同じ場所で、その姿をとどめている。 | 北区北7条西7丁目 |
| 16 | 偕楽園跡 | さっぽろ・ふるさと文化百選 (遺跡) No. 55 | ・明治4年(1871年)開拓使によって造られた公園。園内には農業などの試験場も造られ、産業育成の中心地でもあった。 | 北区北7条西7丁目偕楽園緑地 |

| | | | | |
|----|------------|-----------------------------|---|-----------|
| 17 | サッポロビール博物館 | さっぽろ・ふるさと文化百選(建物) No. 33 | <ul style="list-style-type: none"> ・日本で唯一のビール博物館。明治23年(1890年)に札幌製糖会社が造ったレンガ造の製糖工場を明治36年(1903年)に買い取り、製麦工場として稼働していた建物を、昭和62年(1987年)にサッポロビール博物館として開館。 ・「旧札幌製糖会社工場」の名称でさっぽろ・ふるさと文化百選に、「札幌苗穂地区の工場・記念館群」の名称で、北海道遺産に選定されている。 | 東区北7条東9丁目 |
|----|------------|-----------------------------|---|-----------|

※上記一覧には、公開されていないものもあります。

※開拓使の事績を伝え、文明開化の先端をいった北海道の気風をよく表している時計台、豊平館、清華亭などの洋風建築群は、「開拓使時代の洋風建築」の名称で北海道遺産に選定されています。